

紹介された本

- 『大鏡』 石川 徹／校注 新潮社 2017.1
『人間みたいに生きている』 佐原 ひかり／著 朝日新聞出版 2022.9
『二人一組になってください』 木爾 チレン／著 双葉社 2024.9
『一〇三歳になってわかったこと』 篠田 桃紅／著 幻冬舎 2015.4
『ヴィクトリアン・ホテル』 下村 敦史／著 実業之日本社 2021.3
『N』 道尾 秀介／著 集英社 2021.10
『ここからはじまる 父と息子のサッカーノート』 はらだ みずき／著
新潮社 2017.1
『コンビニ人間』 村田 沙耶香／著 文藝春秋 2016.7
『さよならごはんを明日も君と』 汐見 夏衛／著 幻冬舎 2024.5
『セカンドウインド』 フィリップ・ポッツォ・ディ・ボルゴ／著
アチーブメント出版 2012.9
『晴れ、時々くらげを呼ぶ』 鯨井 あめ／著 講談社 2022.6
『変な絵』 雨穴／著 双葉社 2022.10
『万人の父になる 佐竹音次郎物語』 横山 充男／文
学研プラス 2019.9
『みんな虫を殺したかった』 木爾 チレン／著 二見書房 2021.7
『夜明けのすべて』 瀬尾 まいこ／著 水鈴社 2020.10
『私の彼は腐ってる』 九条 菜月／著 中央公論新社 2020.5

編集・発行／オーテピア高知図書館 ティーンズ担当

〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-1-1

Tel: 088-823-4946 (代)

オーテピア高知図書館ウェブ・サイト ティーンズ・コーナー

<https://otepia.kochi.jp/librarv/teens.html>



ティーンズ通信

第31号

2024年12月

ビブリオバトル特集号！

ビブリオバトルは、お気に入りの本を持ち寄り
その魅力を紹介する書評合戦です。
11月17日に県内の高校生を対象に開催した
高知県大会の様子をお伝えします！



オーテピア高知図書館



ビブリオバトル公式ルール（ビブリオバトル普及委員会より）

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
2. 順番に1人5分間で本を紹介する
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする



大会結果

チャンプ本



石川 徹／校注
『大鏡』
（新潮社刊）

準チャンプ本



佐原 ひかり
『人間みたいに
生きている』
朝日新聞出版

オーテピア賞



木爾 チレン
『二人一組に
なってください』
双葉社



篠田 桃紅
『一〇三歳になっ
てわかったこと』
幻冬舎

チャンプ本『大鏡』（石川 徹／校注 新潮社）の紹介者は、越智洸太郎さん（高知学芸高等学校）です。「全国高等学校ビブリオバトル2024 決勝大会」への意気込みをどうぞ！

（※校注…古典作品などの字句の誤りをなおし、注釈をくわえること）



古文世界の魅力を自分の言葉で伝えていきたい。古文世界は、今の世界から完全に離れているわけではなく、伝統や心情と結びついている。過去を学び、今を見つめることはよりよい未来を作る第一歩である。決勝大会では、魅力を伝えるために頑張りつつも、楽しみたい。